

どんぐり 実生

〒330-0042 さいたま市浦和区木崎3-1-1

埼玉県立浦和西高内 浦和西高斜面林友の会事務局 電話 048-831-4847

メール件名は「斜面林」と記入してください。

入会の申し込み、問い合わせメール 3220028501@jcom.home.ne.jp

『実生』投稿受付 ashinagako@gmail.com

ホームページ <http://unshamenrin.wix.com/un-shamenrin>



《7月12日》

天気：晴れ

参加人数：25名

活動内容 ①斜面林の草刈り
②さつまいも畑の草刈り

曇り空で湿気が多く蒸し暑い



URAWANISHI.SHAMENRIN

インスタグラムQRコード

①斜面林の草刈り

先月と同様に斜面林の中の草刈りです。今月は特に、西側の正樹院橋の通りに面した辺りを中心に刈りました。面積的にはかなり広い場所で奥まわって、ついつい後回しにしてしまいます。

今日は、小さな子どもたちが参加していて、虫捕りに夢中でした。虫を見つけては見せてくれました。ちょうど虫博士の西高生も参加していたので頼りになるお兄さんがいてよかったですね。家の周りでも原っぱや林があり、虫捕りをしていましたが、そんな光景は今や絶滅状態かもしれません。



虫捕り上手な2人



クワガタ
カミキリムシ
カマキリ



②さつまいも畑の草刈り

今月も焼きいも大会用のさつまいも畑の草刈りをしました。今月も雑草が思ったほどではありませんでした。どなたか時々草刈りに来てくださっているのでしょうか？育ち具合は今のところいい感じですが、さてこの先、降水量や高温過ぎても生育に影響が出ます。豊作であることを願います。



さつまいも畑草刈り中

見沼代用水沿いのヤブカンゾウ
「NPO法人カンゾウを育てる会」が毎年
見事なカンゾウの花を咲かせています。
陰では、NPOの皆さんが日夜一生懸命に
世話をしています。



7月
斜面林で見つけた花



ミズヒキ



ヤブミョウガ

不定期
会員紹介コーナー



塚田悦子さん
多方面に活躍していて
いつも色々なイベントを
紹介してくれます。
つい最近までスマホも
持たなかったのに、
今や使いこなして楽しん
でいるのもステキ。



吉田幸子さん
斜面林の活動に惚れ込ん
で西高に娘さんが入学し
てとても喜んでいます。
アズマネザサを見つけると
刈りたくなる衝動に駆
られる病にかかっていま
す笑

「おがキンちゃんのひとりごと」

熱い熱い選挙が終わりました。熱さの原因の一つは間違いなく米騒動です。米問題は歴史的・地勢学的な問題を孕んでいてとても厄介です。一口に大規模経営になれば、米単価が下がる、という意見があります。確かにその側面はありますが、そう単純ではありません。

私も家庭菜園家ですが、家庭菜園で田んぼを営んでいるという話は聞いた事がありません。米作りはプロの仕事なのです。では、プロである農家は規模が様々です。大規模化を阻む大きな要因になっています。大小様々な農家が、専業であれ、兼業であれ、稲作を営んでいて、しかも、工場勤務などによる収入の補完的役割を担っているのが実態ではないでしょうか。

地勢的には脊梁山脈を特徴とする地形は、必然的に平野部は少なく、川筋の地形を利用する。山里農業の比重が大きくなります。つまり、日本の地形から言って、一枚の大きさを含めて様々な米作りが必然なのです。棚田の一粒と平野部の一粒では、自ずと値段が違ってきます。だから、日本の米作の大規模化だけでは解決できないのです。

季節の風物誌に、よく御祝儀物が報道されますね。メロン十万、ブドウ二十万など。挙句にマグロは一億。斜面林の面々はため息をつくグループでしょう。でも、ご祝儀でお米10kgが十万とは聞かないですね。主食にご祝儀相場があってはならないのです。主食は淡々と値をつけて取引されるのが、基本で有り、政治の一丁目一番地なのです。安全保障の問題も大切です。

私は日本の米作を大切にしたいと願う一人です。私が好きな井上真央さん主演の「大コメ騒動」(2021年)は大正時代の話でした。大河ドラマ「べらぼう」の米騒動は天明時代の話です。やはり、主食の異変は昔も今も大きな政治問題になり得るほど重要なテーマだと理解すべきです。

私は、多様な農家も消費者も、これならと納得できる適正な価格帯に維持できる事が長い目でみて一番の大切な事だと思っている一人です。(小川 均)

《2025年度の浦和西高斜面林友の会作業は、基本第2土曜日9:30～11:30に行います》

9月13日(土)、10月4日(土)、11月8日(土) 集合は地学教室です。

*第1土曜日です